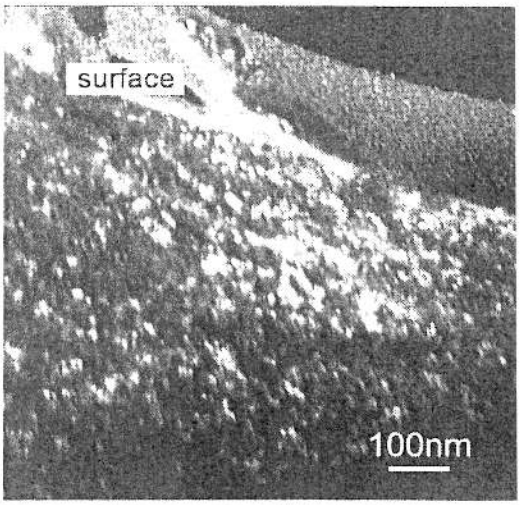
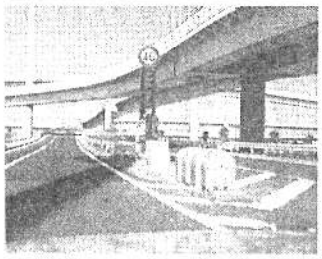


白い粉がナノ結晶層（鉄ナノ結晶層）

車両用衝突緩衝装置

エヌケイシーが拡販

首都高の納入 追い風に



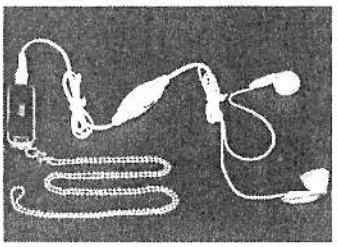
エヌケイシー（大阪市西区、山﨑佐智子社長、06・6537・5357）は、車両用衝突緩衝装置を拡販する。安全志向の高まりを追い風に、07年2月期に大型の「ショックプロテクター（SP）」シリーズを120基、一般道路向け「ポールクッション」も500基と、それぞれ前年度比3－4倍の受注を目指す。売上高も2億円を計画する。

SPシリーズは00年に大阪府立産業技術総合研究所の中嶋隆勝主任研究員らと共同開発。鋼板製の緩衝板と、内部に緩衝材を入れたポリエチレン（PE）および薄板鋼板製緩衝ボックスを重ねている。衝突速度60キロ－100キロに対応し、4機種をシリーズ化している。

1基160万円で累計販売の実績は約60基。首都高速道路向けに9基納入したことなどをきっかけに、設置は増加傾向にある。06年度に前年度比3倍の受注を目指す。

ポールクッションも府立産総研と05年5月に共同開発。鋼管製緩衝ポールの周囲を発泡ポリスチレン入りのPE製緩衝ボックスで包んだ形状。1基約35万円で150基以上を販売している。

▲……首都高湾岸線浮島ジャンクションに設置した「ショックプロテクター」



崎市高津区、松田正雄社長、044・888・3796）は、アクセサリータイプの補聴具「i－ペンダント＝写真」を5月中旬に発売する。ふだんに使い、イヤホンを差し込むと音声を拡大して聞ける。価格は本体、イヤホン、充電器を含めて1万円。月1000台の生産を目指す。本体は横1・9ミリ×縦5・0ミリ×厚さ1・3ミリで重さは10グラム。タイピンとペンダントの2タイプあり、ペンダントのチェーンは金と銀から選べる。周囲の雑音をカットする高指向性のマイクを内蔵し、音声をクリアにできる。

弁体に軟質ゴム採用

明立が止水栓を完成

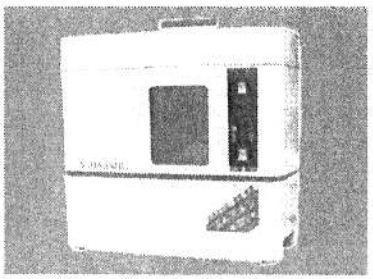
【さいたま】明立（埼玉県川口市、吉川勝社長、048・283・7639）は、不断水止水栓工法（水道管などを完全に断水させずに、一部分だけ止めて行う工法）に使う「MRストッパー＝写真」を完成した。弁体に軟質ゴムを採用したため止水性が高まるほか、水道本管へのダメージが小さい。川口市の使用認可を取得した後、06年度内に量産を始め、首都圏を中心に全国で発売する。月100－150台の出荷を見込む。

MRストッパーは水道管とゴムの挿入部を連結した。水圧によってゴムがすき間を埋め、完全に止水できるようにした。また施工後に挿入機部分を取り外し、キャップを締めることで省スペース化を達成した。

同社は川口市、鳩ケ谷市、蕨市を中心に漏水対策工事と上下水道工事を手掛ける。止水栓で起きていた赤水の発生や、再工事の際に埋め込んだバルブや挿入機を破損するなどの問題を解決する。

樹液で微生物繁殖 抑制

トーマス、消臭機を発売



トーマス（大阪府堺市東区、中井有美社長、072・234・7374）は、植物性エキスのフィトンチッドを使った消臭機「ヴィ・ダッシュ＝写真」を発売した。フィトンチッドの樹液を部屋全体に噴霧して消臭、抗菌効果を発揮する。本体価格は5万円で、消臭液は1トル2000円。販売代理店を募り、病院、老人ホーム、動物病院などに展開する。初年度の販売目標は1万台。

フィトンチッドは樹木が発散する、細菌などの微生物の抑制物質。同消臭機はフィトンチッドの樹液を振動子により微粒子状で拡散し、悪臭を分解して細菌を寄せ付けない。微粒子の拡散でマイナスイオンが出るため「リフレッシュ効果もある」（増本耕三会長）。1台の適用範囲は33平方メートル。1カ月に消臭液約3トルを使用する。

近畿大学医学部付属病院（大阪府大阪狭山市）の集中治療室（ICU）での使用で、臭気が著しく軽減されたという評価を得た。民間検査機関の検査でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）などの除菌に有効なことも実証済み。

優良賞

皮膚を健やかに保つ

リバテープ製薬は熊本大学や熊本県工業技術センターと共同で、さらさら感（使用感）としっとり感（保湿性）を併せ持ちほぼ10ナノメートルのビーズにして、保湿性を持つコハク酸をつけたのが新技術。熊本大が理論研究し、熊本工技センターが製造装置を開発、リバテープ製薬は商品として使える原料を開発した。リバテを直径がほんだ。狙いは30代の女性で、開発は同世代の女性研究者が担当した。レフリエは今月から販売している。

（熊本県植木町、杉山宏治社長、096・272・0631）

テラス

存在感アピール

▽…「学会で議論する相手がいない」としたり顔なのは、京セミ（京都市伏見区）社長の中田仗祐さん。

▽…昨年、中国・上海で行われた光関連学会のPVSECで、全方位かまる球状太陽電池の規格作りで、存在感をアピールできたのが一番」と。議論相手がいないのが快法について発表したが、反応はなし。「球状電池は複数社が手掛けているが、全方向から光を受けるセルは当社だけだから」と解説する。

▽…発表は論文賞を受賞するなど成果が得られた。「これから始

中田さん